

学習相談教員__2026

学習の方法や進め方・卒業研究など、修学上の諸問題について、**岡山学習センターの先生方がマンツーマンで相談に応じます。**

お気軽にお申し込みください。

無料。一人でもグループでも可。

申込が必要ですが、当日の申込もお受けします。

申込みは事務室まで。

<問合せ先:086-254-9240>

卒業研究についての相談にも応じます。

- ・自分が持っている問題意識や考えているテーマで論文を書くことができるだろうか。
- ・放送大学専任教員の研究分野、専門と自分の研究テーマが重ならない時にはどうすればよいだろうか。
- ・論文の指導をしてくれる先生はいるだろうか。

～学習相談教員紹介～

田仲洋己所長（岡山大学名誉教授）

専門分野：日本文学



〈学生に向けたメッセージ〉

専門は日本の中世文学で、とくに院政期から鎌倉時代初頭にかけての和歌文学について関心を持ち、『新古今和歌集』や藤原俊成・定家等の歌人について研究して来ましたが、この時代の和歌は王朝物語とも深い関りがあるため、『伊勢物語』や『源氏物語』に代表される平安時代の物語・日記文学にも興味を持っています。豊饒な古典文学の世界に比較的容易な手続きで参入できるのは、或る意味において現代の我々の特権ですが、膨大な研究や注釈の蓄積があるにもかかわらず、まだまだ謎が多く、わからないことだらけです。皆さんの知的な関心に、幾分なりとも応えることができればと願っています。

〈相談テーマ例〉

◎平安時代から鎌倉時代にかけての和歌文学の研究について

『古今和歌集』から『新古今和歌集』に至る八代集やその時代の歌人の研究を志す方の相談に応じます。

◎王朝の物語文学・日記文学の研究について

『伊勢物語』『源氏物語』『狭衣物語』等の物語文学や『蜻蛉日記』『更級日記』をはじめとする日記文学に関心がある方の相談に応じます。

◎その他、平安から中世にかけての古典文学全般について

当方に十分な知識のない作品やジャンルもありますが、わかる範囲で皆様の相談に応じます。

◎日本の近代文学について

専門の研究者とは言えませんが、明治以降の小説や詩歌を読むことも好きなので、できる範囲で皆様の相談に応じます。

加来田博貴先生（岡山大学医歯薬学域 研究教授）

専門分野：医薬化学



〈学生に向けたメッセージ〉

私の専門「医薬化学」は、「化学」と「薬の理解」をつなぎ、新しい医薬候補を創る学問です。分子の視点で、薬が効く仕組みや副作用を理解することが大切です。栄養やビタミンも同じ“分子”であり、その性質（脂溶性/水溶性など）を学ぶ有機化学は、吸収・代謝や相互作用を考える強力な道具になります。「なぜ効く？なぜ副作用？食事やサプリは薬とどう関係する？」を一緒に学びましょう。

〈相談テーマ例〉

- ◎有機化学が栄養・ビタミン・薬の理解にどうつながるかを、具体例で学びたい（脂溶性/水溶性、官能基、立体構造など）
- ◎自分が飲んでいる薬について、作用と副作用を分子の視点で理解したい
- ◎薬局・薬店で販売されている医薬品（OTC）の選び方を知りたい（症状・成分・注意点）
- ◎サプリメント/ビタミン/栄養ドリンクの成分表示を読み解き、薬との相互作用や安全な使い方を知りたい
- ◎登録販売者の受験勉強を、ポイントと勉強計画を含めて相談したい

劔持淑先生（岡山大学名誉教授）

専門分野：英語・英文学



〈学生に向けたメッセージ〉

主に19世紀から20世紀のイギリス小説や短編に関する研究を行ってきました。

E・M・フォースター（1879-1970）の作品を中心に読んできましたが、ヴァージニア・ウルフ（1882-1941）やエリザベス・ボーエン（1899-1973）などの同時代の女性作家の作品も読んでいます。

〈相談テーマ例〉

- ◎19世紀から20世紀のイギリス小説や短編作品について
心惹かれる作品があれば、読んでみましょう。登場人物を通して描かれる時代あるいは社会の特徴について考えてみましょう。

齋藤昇先生（岡山大学名誉教授）

専門分野：動物生理学



〈学生に向けたメッセージ〉

私の専門は動物生理学で、特に鳥類であるニワトリやウズラについて研究をしてきました。私たちの体は、体温を一定に保つなど非常に優れた調節系で体の恒常性が維持されているように上手く調節されています。動物生理学に関して興味がある方は、気軽に相談に来てください。

〈相談テーマ例〉

鳥類を特に研究材料として用いて研究してきましたが、動物生理学全般についても結構です。

- ◎動物の生理学についての対策。
- ◎動物の生理学に関する質問。
- ◎動物のみだけでなく、生物全般でも何か質問があれば一緒に取り組みましょう。

堀内孝先生（岡山大学社会文化科学学域 教授）

専門分野：社会心理学・認知心理学



〈学生に向けたメッセージ〉

人間であれば誰しも自分や他者の「心」について興味・関心を持つのは当たり前のことです。我々に「心」があることは疑いの余地がないのですが、しかしながら、「心」を直接見た人は（おそらく）いないでしょう。ここに、科学としての心理学研究の難しさがあります。私は、人間の「心」を理解するためのキーワードは「社会脳」だと考えています。すなわち、人間の祖先は社会生活を営む中で、言語や記憶を始めとする認知機能と脳を共進化させてきたのであり、その最大の産物が「心」であると考えています。実際、我々の悩みの多くは人間関係に起因しますし、欲や感情、偏見による認知バイアスは事実を見る目を曇らせます。私はこのような観点に立脚し、社会心理学と認知心理学の研究を双輪で行っています。皆様には心理学の面白さが伝わるよう、学習相談とゼミを組み立てて行きたいと考えています。

〈相談テーマ例〉

- ◎社会心理学（自己，対人認知，対人魅力，対人関係，集団，社会，文化）に係ること
- ◎認知心理学（感覚，知覚，意識，記憶，思考）に係ること
- ◎心理学の資格や検定に係ること
- ◎心理学統計の勉強の仕方

宮崎和人先生（岡山大学名誉教授）

専門分野：日本語学



〈学生に向けたメッセージ〉

日本語の文法を研究しています。文法と言うと正しい文を作るためのルールというイメージがあると思いますが、言語学者たちの関心は、そのルールを記述することにとどまらず、文法が今のような形にできあがったのはなぜかということにあります。もちろんこれは超難問で、言語の基本ルールは脳に由来すると仮定する自然科学的なアプローチ（普遍文法仮説）もあるのですが、私自身は、人間はただ文を作っているのではなく、文を作ることによって出来事を作っているのだという考え方から出発します。出来事は文にしない限り存在しないということです。これに対して「私はさっき先生が太郎を叱っているところをたしかに見た。「先生が太郎を叱った」という出来事は私が文にしなくても存在している」と反論する人もいるかもしれません。本当にそうでしょうか。この人はすでに文で出来事を作ってしまったですね。別の人（例えば太郎の親友）なら「先生が太郎を叱った」と言わずに「太郎が先生に叱られた」と言うかもしれません。この二つは決して同じ出来事なのではなく、前者は先生の行為であり、後者は太郎がどうなったかということです。まず出来事があってそれを文に写し取るのではなく、文で出来事を作り出すのです。私たちがフィクションにのめり込めるのも、嘘をつくことができるのも、文には出来事を作り出す力があるからです（ちなみにこれは認知言語学の考え方（現実構成主義）です）。私の考える文法とは、人間が出来事を作り出し共有する手段であり、文法はそのために今のような形にできあがったということになります。

〈相談テーマ例〉

日本語学全般について相談にのりますが、特に以下のようなテーマについては専門的な研究指導が可能です。いずれも言語学をベースにした日本語研究となります。

- ◎ 日本語文法の研究
- ◎ 国語辞典を利用した語彙・文法や語の意味の研究
- ◎ 方言の研究

吉田裕一先生（岡山大学特任教授）

専門分野：野菜園芸学



〈学生に向けたメッセージ〉

農学部では主にイチゴやトマトを対象として栽培技術について研究し、農場での野菜に関する実習教育を担当してきました。

野菜を育てるところから食べるところまで、いろいろな楽しみや苦労があります。失敗の先にある野菜を見極める眼力や美味しいご褒美を目指して、知識を蓄えて行ければいいなと思います。

〈相談テーマ例〉

◎就農したい，家庭菜園を始めたい

生業にするための人生相談は難しいですが，ハードルの高さはおよそ分かります。

成功の秘訣は知りませんが，失敗するパターンはたくさん知っています。

◎野菜の育て方，選び方，食べ方……。

よろず相談，独断と偏見でお答えします。

清水光弘先生（元川崎医療福祉大学准教授）

専門分野：発達心理学



〈学生に向けたメッセージ〉

私の専門領域は発達心理学の中の乳幼児心理学です。乳幼児期という発達初期の在り様が，その後の人生に強く関わっていると言われていています。乳幼児心理学の学問としての面白さだけでなく、子どもの健やかな育ちに寄与する視点についてもお伝えできればと思います。

〈相談テーマ例〉

福祉，保健，医療現場での勤務後，教員になりました。そのために，発達心理学の基礎研究が教えてくれることを，実際の育児支援に活かせないものかとずっと考えてきました。次にお示したようなテーマに関することに興味のある方は，お気軽に話しに来てください。ゼミでの講義内容に関する議論も大歓迎です。

◎子育て支援 ◎発達のみずき ◎心理臨床の仕事 ◎児童福祉

谷口抄子先生（元岡山大学准教授）

専門分野：生薬漢方薬学・薬用植物学



〈学生に向けたメッセージ〉

植物から取り出された植物成分は化学薬品医療のもとになっており、近代薬学の基礎を築いてきました。一方、身近な植物などをそのままの形で、民間薬、ハーブやスパイスとして、また、現代医療の中でも、漢方薬として利用しています。医療や健康維持に関連する植物について、植物の分類や、成分、薬効などに興味のある方は一緒に学びましょう。

〈相談テーマ例〉

- ◎民間薬やハーブ・スパイス、野菜や野草などの薬草全般の分類上の特徴や利用方法
- ◎薬用植物に含まれる成分とその作用
有毒な植物から開発された医薬品もあります。どのような成分が利用されてきたのかなど。
- ◎漢方薬の利用方法
現代医療の中でも利用されている漢方薬について、その構成生薬や漢方薬の適応について。